

## 2020 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	松本をもっとよくしようプロジェクト	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学人文学部人文学科 2 年
	ふりがな 氏名	佐藤 翔斗
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学教職支援センター 荒井 英治郎

活動名	「学割カエルパ！」のさらなる利用促進を促すための広報活動
実施時期	2020 年 3 月より 2021 年 2 月まで
実施場所	松本城・信州スカイパーク
活動内容	<p>松本をもっとよくしようプロジェクトは、2020 年 3 月 1 日より松本市内の協賛店において全国の学生が学生証を提示するだけで特典を受けられるサービス、「学割でおトクにかえるパスポート」通称「学割カエルパ！」事業を開始した。これは、若者を地域ぐるみで応援するサービスであり、松本をもっと好きになってもらいたいという想いや、松本へ来てよかったと思ってもらうことを企図している。だが、事業開始当初より新型コロナウイルス感染拡大が影響し、当事業はその広報活動が満足に行えない状況であった。そのような状況の中、松本観光コンベンション協会ご協力の下、11 月 7 日、11 月 8 日に開催された「松本城ウォーク 2020」において広報活動を実施した。このイベントで私達「まつもつ」は、「学割カエルパ！」のマスコットキャラクターである「カエルパ！」のチラシが入ったポケットティッシュ、およびキーホルダー、協賛店一覧の載ったチラシを参加者に配布し、「学割カエルパ！」の利用を促した。</p> <p>さらに 12 月 6 日も同様に、「学割カエルパ！」利用促進を図るための広報活動を実施した。同日サンプロアルウィンで開催された松本山雅 FC のホームゲームに合わせ、信州スカイパークにて行政主体のブースが開かれた。「まつもつ」は信州大学生と松本市市民課の協働プロジェクトであるが、その一環で当イベントに参加させていただくことができた。この日も「まつもつ」は「カエルパ！」のチラシが入ったポケットティッシュ、キーホルダー、協賛店一覧の載ったチラシ、さらに今回は「カエルパ！」のシールを貼った手鏡を参加者に配布した。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>2020 年度上半期は満足に「学割カエルパ！」を広報することができず、苦悶の日々が続いた。しかし、下半期となり次第に制限が緩和されていた中で、イベント開催時に広報ができたという点で大いに成果があった。「松本城ウォーク 2020」はウォーキングイベントであったこともあり、参加された方に、実際に「学割カエルパ！」協賛店を見ようという機会にも通ずるものがあったのではないかと考えられる。さらに松本山雅 FC 試合開催時の広報活動では、多くの若者、家族層の方々が来場しており、若者に対して直接「学割カエルパ！」を知ってもらった機会になったと考えられる。これらの活動により、「学割カエルパ！」、ひいては「松本をもっとよくしようプロジェクト」は 2019 年度の発足時に比べ、一定の認知を得ることができたと思われる。実際に、「学割カエルパ！」協賛店は 2020 年 2 月現在で 100 店舗を超えており、徐々に松本市内において市民の方々・お店の方々双方からの認知が広まっている。</p> <p>今後の課題としては、より若者にとって「学割カエルパ！」を利用しやすい環境を作り上げることであると考える。協賛いただける店舗は次第に数を増やしているものの、未だどの店舗でどのような特典が受けられるのか、上手く若者に伝わっていないように感じられる。広報は、紙媒体で地道に続けていく努力も必要であるが、なるべく若者と接触できる機会を増やし、直接的に訴えていくことが重要であると考えられる。来年度は、さらに若者にとって「学割カエルパ！」が当たり前の存在となっていくよう活動していきたい</p>

	たい。

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。

【参考資料1】配布物詳細



【参考資料 2】活動写真

1. 松本城ウォーク 2020



2. サンプルアルウィン

